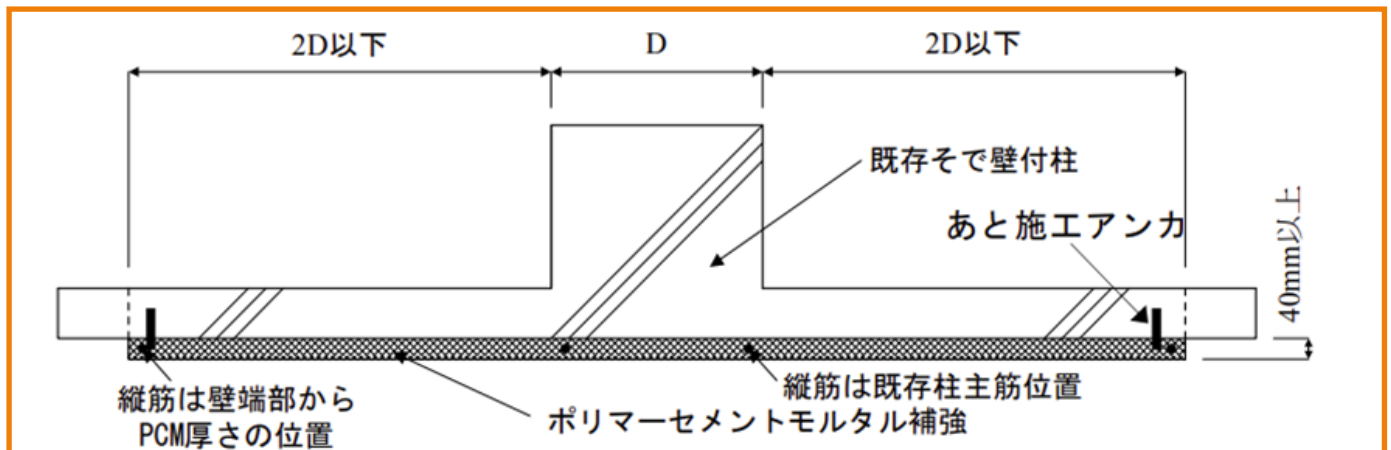


『サイド・ポ・スト工法』三和アルミ工業株式会社

本工法は既存建物（RC造・SRC造）の袖壁付柱を組立鉄筋と特殊ポリマーセメントモルタルを使用して一体化させることにより、既存のそで壁付柱のせん断強度を増大させる耐震補強工法で、（一財）日本建築防災協会の技術評価を取得しています。

この補強工法は、①あと施工アンカーを必要としないため、工事中の振動・騒音・粉塵の軽減が図れる。②工事は建物の外壁面からのみ行い、部屋内での工事を必要としない。③型枠が必要ないので工事中の住民に対する負荷が少ない。④耐震補強前と補強後の外観や使い勝手がほとんど変わらない等の工事に関するメリットもあり、集合住宅の耐震工法に特化した補強工法といえます。設計にあたっては、PWR-SWR工法研究会のピアチェックを受けることにより採用できます。



そで壁付き柱補強工法の概要

なお、技術評価の適用範囲は以下の通りです。

地上6階建て以下の中低層RC造建物、12階建て以下のRC造建物と同等評価となる鉄骨量の少ないSRC造建物、12階建て以下で上部RC部分が6層以下の混構造SRC造建物のRC造部分および鉄骨量の少ないSRC造部分。

既存建物の l_s 値が0.45以上、または在来工法等で $l_s=0.45$ 以上に補強された建物。

既存建物のコンクリート強度が、 $F_{c1}=15.0\sim 36\text{N/mm}^2$ の建物。（ F_{c1} ：既存建物のコンクリート強度）

PMG-SWR工法研究会

<https://www.pmg-swr.com/>